

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	ひまわり			
○保護者評価実施期間	2025年11月4日		～	2025年11月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2025年11月4日		～	2025年11月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○訪問先施設評価実施期間	2025年11月4日		～	2025年11月30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)		(回答数)	
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月9日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	詳細な報告書の作成	子どもの様子を客観的にとらえ、その場面を直接見ていない先生や保護者とも共有できるような文面にしている。 学年が上がり担当者が変わっても報告書から発達の経緯を知ってもらうことを心掛けて作成している。	書式をもっと見やすい物にしていけるように工夫していきたい。
2	集団の中で取り組めそうな環境設定の提案	利用者の発達段階、現状を踏まえ、必要と思われる環境設定を利用者のみにクローズアップするのではなく、集団生活、園、学校のマンパワーなどを考慮して取り組める環境設定を提案するようにしている。 困りごとは即座に解決できればいいが、焦らず時間をかける必要もあるということ意識してスモールステップを共有できるように話し合いを進めてる。	限られた時間の中でスムーズに協議を進めていくには、訪問支援のスタート時に、園や学校側の状況把握がある程度できると、現状を整理したうえで、観察に入ることができ、更により良い支援方法の提案ができるのではないかと考える。訪問先の負担にならない範囲で現状把握のシートなどを作成して訪問支援に臨みたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人材育成	現状、訪問支援に行ける人材に限られている。 訪問支援はその場で情報の共有を行い、子どもたちにとって過ごしやすい環境を作るにはどうすればいいかを考えることが重要な取り組みである。それに対応するには経験、知識が必要とされる。 育成はスタッフの配置に余裕がないと行えず、今、その余裕がないことが課題の要因と考える。	研修参加の機会を増やす。 研修を兼ねて現場に同行できるよう、スタッフ配置に余裕を持てるよう新たにスタッフを募集するなどの対応を考えていく。
2	訪問先との日程調整	当事業所だけの弱みということではなく、訪問先との日程調整に難しさを感じている。行事等が多い中、予定変更なども多く、計画していたポイント、回数を行うことが難しかった。	年間を通して、訪問先と予定を確認し、どの時期に訪問に何うかを計画していきたい。 急な依頼に関しては、こちら側が最大限予定を合わせられるようにする。
3			